ＪＡ福岡大城の「つやおとめ」減農薬・減化学肥料栽培こよみ

合計成分数「９」まで

JA福岡大城、南筑後・久留米普及指導センター
令和７年２月作成

月	５月		６月			７月			８月			９月			１０月		
旬	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
生育ステージ	育苗準備		育苗期		活着期	有効分げつ期		無効分げつ期	穂の発育期			登熟期				収穫期	
水管理						落水	間断かん水		中干し１週間程度		間断かん水	水が最も必要な時期		間断かん水		落水	
主な作業	★温湯消毒・浸種		★播種		★田植え6月20日から25日までに	★栽植密度　坪あたり60株	★除草剤散布	散布後1週間は入水や落水はしない	間断かん水から徐々に中干しに入る		白くなる前までしっかり干す中干しは小ヒビが入る程度で	◎最高分げつ期	★穂肥①　出穂前18日前	★穂肥②　1回目の1週間後	◎出穂期	◎成熟期	適期刈り取り

落水は収穫作業に影響が出ない範囲で、できるだけ遅く行う。
目安として、刈り取りの７～１０日前に落水する。

虫見をよく行い、害虫の発生状況を十分確認し、本田防除は原則実施しない。
収量への被害が著しい場合のみ防除する。

【 施 肥 基 準 】

（１０a当たり）

例	基肥	穂肥①８月14日頃	穂肥②８月21日頃	化成肥料由来の窒素成分
1	新スーパーユーキくん1号 30kg以下	スーパーユーキくん3号 20kg	スーパーユーキくん3号 10kg	2.96kg
2	高有機一発肥料24 60kg	な　し	な　し	2.84kg

※いずれの例も穂肥合計は〇〇70kg／10aまで〇〇。　　※大豆あとのほ場では基肥を入れない。

売れる「ＪＡ福岡大城のつやおとめ」重点目標

〇種子更新１００％
〇田植え時期の統一
〇適正な施肥、農薬使用などの栽判管理
〇確実な栽培利益の記帳

●詳しくは下記まで連絡して下さい●
ＪＡ福岡大城（農　産　課）0944－32－1341
南筑後普及指導センター（水田農業係）0944－62－4191
久留米普及指導センター（水田農業係）0942－47－5101

【 病 害 虫 防 除 基 準 】

（１０a当たり）

	種子消毒	箱苗防除	本田防除
時　期	播　種　前	田植え前3日～田植え前日	8月上旬～下旬
使用基準	温湯消毒 60℃ 10分	フェルテラゼクサロン箱粒剤 50g／箱 ※散布後、ジョロなどで水をかけ薬剤を落ち着かせる	・オーケストラロムダンモンカット粉剤DL ・オーケストラロムダンモンカットエアー
農薬成分数	0	2	3

※紋枯れ病のみの防除を行う際は、バリダシン粉剤DLを出穂期（8月中下旬）に散布します。
※ジャンボタニシにはスクミベイト成分数「0」
※苗立ち枯病対策タチガレン成分数「1」

【 除　草　剤 】

除草剤	10a当たり使用料	使用時期	農薬使用成分数
ガツントZ　フロアブル	500ml	田植え後5日～ノビエ3.0葉期まで（但し、移植後30日まで）	2
ガツントZ　1キロ粒剤	1kg		
ボデーガートプロ　フロアブル	500ml		
ボデーガートプロ　ジャンボ	10パック		
ガンガン　ジャンボ	10パック	田植え後3日～ノビエ2.5葉期まで（但し、移植後30日まで）	

※農薬安全使用の順守　※農薬飛散防止に努めましょう。

◆安全・安心な良食味米生産のため、施肥及び農薬散布基準を遵守しましょう。

令和7年2月更新